令和６年度　登別市下水道事業報告書

１　概　況

（１）総括事項

本年度は、人口減少に伴い下水道使用料収入が減少したほか、物価上昇等に伴い維持管理費も増加傾向にあり、引き続き厳しい経営環境に置かれました。

こうした厳しい社会情勢の中、持続可能な事業経営を行うため、コスト縮減に努めながら、維持管理に資する施設整備を計画的に実施するなど効率的な経営に努めたほか、「登別市下水道事業経営戦略」を見直し、経営の健全化に向けた取組をまとめました。

また、汚水の安定的処理による公共水域の保全や雨水の浸水防除などの下水道事業の公共的使命を果たすため、建設改良事業を実施しました。

イ　業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ２３，９４５㎥減少の３，０４２，４４８㎥、個別排水処理施設事業で前年度に比べ１７㎥増加の１７，６１２㎥となりました。

ロ　建設改良事業

管渠建設費においては、道道登別停車場線の無電柱化・改築事業に伴う雨水管渠実施設計を実施したほか、汚水管渠については、登別駅前広場整備事業に伴う移転補償工事や既設管のたるみが著しい箇所の改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、ストックマネジメント計画に基づき、若山浄化センターの電気設備の改築更新を進めました。

ハ　施設の現状

本年度末における施設の現況は、次のとおりです。

・終末処理場　　若山浄化センター
　（施設構成）ポンプ棟、オキシデーションディッチ、最終沈澱池、塩素混和池、汚泥処理棟、送風機棟
・ポンプ場　　３か所（若草ポンプ場、幌別ポンプ場、登別ポンプ場）
・管渠　　汚水管　延長　２６４，１２０．０４ｍ
　　雨水管　延長　　４，８２９．５８ｍ

ニ　財政状況

収益的収支（税抜き）

収入は、営業収益７億１，３６５万２，２６０円（うち使用料６億４，４４０万７，３８２円）、営業外収益９億３，０１８万２，７６６円、特別利益１，９４８万３，８００円の合計１６億６，３３１万８，８２６円となりました。

これに対し支出は、営業費用１３億３，５０６万８，９３４円、営業外費用１億８，９１０万５，９１４円、特別損失３万８，０８８円の合計１５億２，４２１万２，９３６円となり、収支差引による当期純利益は１億３，９１０万５，８９０円となりました。

資本的収支（税込み）

収入は、企業債５億３，２２０万円、負担金及び分担金１，８３９万１，１１０円、補助金１億９，６０８万７，５７５円の合計７億４，６６７万８，６８５円となりました。

これに対し支出は、建設改良費１億７，０８９万６，５３６円、企業債償還金１２億４，３８７万９，５２２円の合計１４億１，４７７万６，０５８円となり、収支差引による不足額は、６億６，８０９万７，３７３円となりました。

この不足額については、損益勘定留保資金などで補てんしました。